



WEEKLY REPORT ROTARYCLUB OF hakusanishikawa

ガバナー方針:「シリア」を未来のロータリーを築こう

クラブ基本方針:「温故知新」…新しい旋風を起こそう! 若いも若きも未来に向けて

白山石川ロータリークラブ

2022年4月28日 No. 949

会長:小柳 善裕 幹事:林 哲也 公共イメージ委員長:松田 和仁

クラブ会報委員長:新 陽一郎 副委員長:中島 育子 委員:多田 茂 木村 俊夫

事務局/白山市西新町 159-2 松任産業会館 4階 TEL076-274-2907 FAX076-274-2908

Mail:info@hakusanishikawa-rc.jp HP://www.hakusanishikawa-rc.jp

◆会長挨拶 (小柳 善裕 会長)

皆さん、今晚は、北國新聞に掲載されましたように「環境保全」教育を目的とした社会奉仕委員会の「やまめの放流事業」が4月23日土曜日に手取川支流の直海谷川で開催されました。当日は会員の他、小野島君の三歳の娘さんや池元さんのお孫さん達、そのご家族を含め総勢30名に集まって頂きました。コロナ禍で当初計画の地域の小学生の参加は出来ませんでした。白山手取川漁業組合協力のもと小林事務局長様にヤマメの生態や河川の自然保護について説明を受けて理解を深め、ヤマメの放流体験を通じて子供たちが河川の環境保全の大切さを感じ学ぶという目的は果たすことができました。次年度も引き続き「環境保全」についての事業が行われる予定です。明日からの文字通りのゴールデンウィーク、それぞれの過ごし方がおありでしょうが、コロナ感染には十分留意しましょう。今日も楽しい例会にしましょう。

◆お客様の紹介

2022-24 学年度米山記念奨学生 温 以勤(カノイチ)さん

◆表彰の伝達

第13回米山功労クラブ 感謝状

◆幹事報告 (林 哲也幹事)

4/28 ガバナー事務所より財団室 NEWS 2022年5月号が配信されました。友愛の広場にもございますのでご覧ください。

◆委員会報告

浅野昭利委員長より第7回会員増強プロジェクト委員会 例会後開催

◆プログラム

クラブフォーラム 次年度に向けて

地区研修・協議会の報告 会長エレクト 池元 ことみ君

◆出席報告(木村 俊夫 出席委員長)

- 出席率: 70.00%
- 出席者: 22名 /41名
- 出席補填: 6名
- 出席免除者: 1名 中嶋 満
- メーキャップ: 20名

4月23日 社会奉仕委員会ヤマメ放流事業

小柳善裕/林 哲也/池元ことみ/藤本和久/福永哲夫/埴岡正稔/松田和仁/永瀬喜子/西川隆司/野澤誠治/織部資子/塩野正幸/小路昌弘/多田 茂/竹田佳一/山内 隆/吉見 聡/木戸正裕/小野島寛和 /本島大昌

◆ニコニコボックスの発表(親睦委員木戸正裕君)

小柳 善裕 会長 放流用のヤマメをおすそ分け頂きました。二年成魚で80~100g程の大きさです。塩焼きにして美味しく頂きました。合掌。

林 哲也 幹事 池元会長エレクト、いよいよ次年度が動き出しますね。

池元 ことみ 先週18日~21日迄東京の姉と箱根に行ってきました。お互い動ける間にと誘われ招待されました。思い切って行って良かったです。気楽な旅でした。

地区研修・協議会の報告、話が下手ですみません!! ヤマメの放流、孫達喜んでいました。ありがとうございます。

武藤 一彦 こんばんわ。連休前ですがコロナとウクライナと天気が悪いとの事で何となく楽しめない感じです。それにもかかわらず、明日より高知での同窓会コンペに参加して来ます。最近は「みんな元気かい?」コンペになっていいますが楽しんできます。

藤本 和久 池元会長エレクト、地区研修・協議会の報告ありがとうございました。次年度に向けて頑張っていきたいと思います。

野澤 誠治 二週連続の欠席です。申し訳ございません。本日より、島根県の方に家族旅行に出掛けます。

本日合計 7,500円 今年度累計 806,000円



ジェニファー・ジョーンズ

ウィンザー・ローズランド・ロータリークラブ（カナダ・オンタリオ州）会員であるジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長エレクトは、1月20日、次年度の地区ガバナーに向けた講演をオンラインでライブ配信し、2022-23年度の会長テーマ「イマジン ロータリー / Imagine Rotary」を発表しました。

ジョーンズ氏は講演の中で、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼びかけました。「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」7月1日に国際ロータリー初の女性会長に就任するジョーンズ氏は、世界中のガバナーエレクトを対象とする年次研修行事である国際協議会に先立って今回の講演を行いました。新型コロナウイルス流行のため、国際協議会は当初の日程から延期され、2月7日～14日にバーチャル形式で行われます。ジョーンズ氏は、ロータリーの力とつながりを生かした自身の体験を紹介しました。昨年、アフガニスタンからの米軍撤退が進む中、

一人の会員から、ある若いアフガニスタン人の平和活動家を国外退避させるために力を貸してほしいと頼まれました。最初はどのようによいかわからなかったものの、「ロータリーの不思議な力 (magic of Rotary)」を頼りに、数年前に出会った元ロータリー平和フェローに連絡。1日も経たないうちに、その活動家は退避者リストに加えられ、間もなくヨーロッパ行きの飛行機に乗ることができました。果たしがいのある責任を会員が担えるように 会員の積極的な参加を促すために、ロータリーには「適応と改革」が必要だとジョーンズ氏は述べ、例として自身が住む町について語りました。ウィンザー市はかつて、カナダの自動車産業の中心地でしたが、工場の閉鎖により数千人が職を失い、市は改革を迫られました。自動車工場が新しい部品やモデルを開発するのと同じように、同市は改革を実施。その結果、現在は農業関連産業と、医療や宇宙航空の技術をリードする都市となりました。「ロータリーでの私たちの中心的な役割は、各会員の参加を促すための適切な”部品”を見つけること」とジョーンズ氏。「詰まるところ、大切なのは会員にとっての心地よさと配慮です」積極的な参加こそが会員の維持にとって重要であり、会員がロータリーに何を期待するかを尋ねた上で、果たしがいのある責任を会員に与えることが必要だとジョーンズ氏は述べます。「ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します」

2022-2023 年度 国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ